



鈴鹿サーキット レーシングシアター 展示マシンリニューアルのご案内

F1、MotoGP™、鈴鹿8耐マシンの期間限定カウルレス展示決定

鈴鹿サーキットは2016年2月19日(金)、レーシングシアターの展示マシンをリニューアルいたします。鈴鹿サーキットで生まれた伝説のレースやそのエピソードを映像とともに紹介するエリア「レジェンドオブ鈴鹿」、および過去の2輪レースで活躍したマシンなどを展示する「エントランスホール」のマシンを入れ替えます。また、マクラーレン・ホンダ MP4/5B、Honda RC211V、Honda RVF750Iは期間限定でカウルを外した状態で展示いたします。

レジェンドオブ鈴鹿

新テーマ:「勝利へ導いたテクノロジー」～レースマシンの機能美～

期間限定でカウルレス展示

今回のテーマは「勝利へ導いたテクノロジー」～レースマシンの機能美～。常に独自の発想と技術でチャレンジを続けるHondaのレーシングスピリットが実を結び、大きな勝利を現実のものとしたマシンを展示します。その後のマシン造りにも大きな影響を与えた「見た目」にも「技術的」にも美しいマシンをご堪能いただけます。また一部マシンは期間限定展示としてカウルレス化し、普段見ることのできない、レースマシンならではの「機能美」も披露します。

「勝利へ導いたテクノロジー」～レースマシンの機能美～ 開催概要

■開催期間: 2016年2月19日(金)～2017年2月中旬(予定)

※カウルレス展示は2016年2月19日(金)～2016年中頃までを予定

■場 所: 鈴鹿サーキット レーシングシアター内「レジェンドオブ鈴鹿」

※レーシングシアター内「レジェンドオブ鈴鹿」のご利用にはお一人様800円またはゆうえんちモトピアパスポートが必要となります。

【展示マシン】

■マクラーレン・ホンダ MP4/5B (1990年)

1989年ターボエンジンが禁止されるとHondaは革新的なV型10気筒3500ccエンジン「RA109E」を開発。マクラーレンもニューマシンMP4/5を投入しライバルを圧倒。ドライバーズ、コンストラクターズのダブルタイトルを獲得した。1990年、Hondaはさらにパワーアップしたエンジン「RA100E」を投入。マクラーレンもMP4/5の進化型MP4/5Bを投入し、アイルトン・セナが鈴鹿サーキットの日本グランプリでドライバーズチャンピオンに輝くとともに、マクラーレン・ホンダは3年連続のコンストラクターズチャンピオンを獲得した。



■Honda HSV-010 GT(2010年)

2009年にフロントエンジン・リア駆動へと大きく規定が変更されたSUPER GTシリーズ。HondaはミッドシップエンジンのNSXに代わるHSV-010 GTを開発。ハイパワーのV型8気筒3400ccエンジンをフロントに搭載したマシンは2010年にデビューすると、鈴鹿サーキットの開幕戦で小暮卓史/ロイック・デュバル組がいきなりポール・ポジションを獲得し、第2戦で優勝するとシリーズをリードしドライバーズチャンピオンを獲得。チームチャンピオンも獲得し、HSV-010 GTはデビューイヤーでダブルタイトルを手にした。



■Honda RC211V (2003年)

2002年、GP500クラスからMotoGP™クラスへ、500cc2ストロークから990cc 4ストロークへと大きな変革を迎えたロードレース世界選手権。Hondaは誰も挑んだことのない革新的なV型5気筒エンジンを開発しRC211Vを投入。デビュー戦となった鈴鹿サーキット日本グランプリでバレンティーノ・ロッシがいきなりポール・トゥ・ウィンを飾ると、その後もライバルを圧倒してチャンピオンを獲得。RC211Vは参戦した5年間で5回のマニファクチャラーズタイトル、3回のライダーズチャンピオンを獲得。世界選手権の歴史に大きな足跡を残した。



■Honda RVF750 (1990年)

世界の耐久レースを席巻したHondaは、1984年にエンジン排気量が1000ccから750ccに変更されるとV型4気筒エンジンのRS750を投入。世界耐久選手権を制覇し「コカ・コーラ」鈴鹿8耐でも優勝。翌1985年、さら進化を遂げたRVF750を投入するとライバルを圧倒。その後もワイン・ガードナーが4勝を飾り、1997年には伊藤真一/宇川徹組が史上初の日本人ペア優勝を遂げるなど圧倒的な強さ、速さで駆け抜け、RVFは参戦した15年の間に鈴鹿8耐で10勝を記録。最強マシンとして今も語り継がれている。



エントランスホール

エントランスホールにも数々の名車を展示

レーシングシアターでは2階の「レジェンドオブ鈴鹿」以外にも、1階のエントランスホールで様々なマシンを展示しています。2輪レースに参戦する様々なマシンを紹介する他、海外の歴史的バイクを展示。先人たちのモータースポーツにかける思いが伝わってきます。

※エントランスホールは無料でご覧いただけます。

【主な展示車両】

- ・Honda CBR954RR (2003年)
- ・Honda CBR1000RR (2004年)
- ・Honda RC212V (2007年)
- ・Honda CBR1000RRK (2006年)
- ・Honda CBR1000RR (2010年)
- ・AJS 7R3A (1954年)
- ・BMW RS レンスポルト (1954年)
- ・マチレスG45 (1955年)
- ・モンディアル 125GP (1956年)
- ・アエルマッキ・ハーレーダビッドソン アラドーロス (1965年)



Honda RC212V (2007年)



Honda CBR1000RR (2010年)

※写真はイメージです

レーシングシアターとは

各エリアを体験しながら、段階的にモータースポーツのスピード、迫力、興奮を体感できる施設です。迫力の大画面映像に加え、音と振動により全身でモータースポーツを体感できる「メインシアター」や、ペダルやハンドル操作、判断能力や動体視力など、レーシングドライバーやライダーに欠かせない能力を実際に体験できるエリア「ディスカバーモータースポーツ」、鈴鹿サーキットで生まれた伝説のレースや、エピソードを紹介するエリア「レジェンドオブ鈴鹿」など、それぞれのエリアでご家族揃ってモータースポーツを存分に体感していただけます。



レーシングシアター外観



メインシアター

※写真はイメージです